

一般質問

～10人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 平方 嗣世 議員

- 安全・安心のまちづくりについて
 - 1 平時における対応、対策
 - 2 災害時対応
- 新市建設計画について
 - 1 進ちょくについて

P 6 須田 勝 議員

- 赤城地区の課題
 - 1 津久田駅周辺整備
 - 2 敷島駅前再生
 - 3 赤城中学校実現

P 7 星野 安久 議員

- 明日の渋川市が抱える農業への課題
- 商業の展望と市民生活

P 7 安力川 信之 議員

- 誰もが活躍できる渋川市を
 - 1 移動支援のための交通政策
 - 2 生涯教育及び学校教育について
 - 3 渋川駅周辺再開発について

P 8 篠田 徳壽 議員

- 第2次渋川市総合計画について
 - 1 子育て環境の充実
 - 2 商工業の振興
 - 3 勤労者対策の充実
 - 4 市民との協働

P 8 南雲 鋭一 議員

- 下水道と水道事業
- 消防・防災対策の充実

P 9 山内 崇仁 議員

- 渋川北部地域の活性化について
- 福祉サービスの向上について

P 9 加藤 幸子 議員

- 渋川市美術館の今後のあり方について
- 高齢者が安心して暮らせるために
- 子育て支援について

P 10 角田 喜和 議員

- 国保税の引き下げと高校卒業までの医療費無料化の拡充について
- 鉄鋼スラグ問題について
- 温泉施設問題について

P 10 望月 昭治 議員

- 伊香保地区の駐車場について
- 災害時の電気自動車活用について
- 国道17号のバイパスについて
- 赤城地区の土地改良について
- 平成18年合併時の公約について
- 市役所庁舎の建て替えについて

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



平方 嗣世

安全・安心のまちづくりについて

平時と有事の対応について

質問 平成30年の災害は「早め」の対応により効果があった。市長は今後どのような政策を行うのか。

市長 有事の際は、早めの対応が大切だと考えています。平時には、地域の人たちが防災意識をしっかりと持つことが大切であるため、自主防災組織の活動率向上、自主防災リーダーの育成に努めます。また、消防水利の早期整備により、水利不足解消を進めます。

危険予知対策について

質問 倒木が民家を直撃する事態は避けるべき。特に市有地の危険箇所は平時に対処すべき。考えは。

総務部長 民家に倒木被害を与える樹木の予見は難しいと考えますが、定期的な点検と早期対応によって被害を未然に防止します。

シミュレーション・反省の実施は

質問 危機管理は平時におけるシミュレーションや災害対応を踏まえた反省が将来の糧になる。実施しているか伺う。

総務部長 市長に連絡できない場

合のシミュレーションを実施するなど、万全な対応を行います。

橋りよう

質問 吾妻川橋りよう2は災害時の評価が一番高い生活道だが、8年間何の進展もない市事業である。生活道は建設を優先すべきであるが、考えを伺う。

総合政策部長 吾妻川橋りよう2の整備については、地域の利便性や防災性の向上等の効果や人の流れの変化、市の財政状況などを総合的に勘案しながら検討します。



地域が早期建設を望む吾妻川橋りよう2



須田 勝

赤城地区の課題

津久田駅周辺整備

質問 前田踏切前後の道路改良で踏切内関係のJRや公安当局とは切り離しての質問とし、通行可能な農耕車などの小型特殊自動車や電動シルバークーが、通行するに当たり、市民が安心して暮らせる観点から、踏切前後を可能な限り安全な待避所として改良を望む。

建設部長 JR津久田駅への利便性向上には、周辺道路等の整備計画が必要ですが、当面の課題解決の方法として、待避所設置は安全な通行確保のためには有効な整備と考えます。設置には、JR所有地の活用が必要となるため、今後、JRとの調整を進めていきます。

敷島駅再生

質問 合併前の村時代、第4次総合計画策定で要望、再度駅前の空き地にテナント方式による出店、駅周辺活性化のため、地元商工会や土地所有者と連携して、駅前にぎわいを取り戻す考えは。

商工観光部長 敷島駅周辺は地域における日常生活やさまざまな活

動の中心と考えます。駅周辺への出店については、民間活力等どのような活性化の方法があるか地元商工会や地域の方々の意向を確認し取り組んでいきたいと考えます。

赤城中学校実現

質問 過去3回同質問を行ったが進んでない。生徒数の激減、学校としての機能が失われている。2年以内に赤城中学校の実現は。

教育長 各地域の合意形成ができ、合同地区委員会における協議結果が統合であれば、統合に向けた調整を速やかに進めます。



改修が待たれる前田踏切

一般質問

整による耕作の再開、補助事業に

農政部長 平成29年度の遊休農地

調査では137haあり農地利用調
止めなければならぬ。遊休化の
状況と荒廃の解消方法は、また、
正式な賃借でない農地の賃借は、
どの位あるのか、その管理指導は。

農地の荒廃と管理

農政部長 規模拡大や法人化が進
み、生産の維持はできるものと考
えます。後継者の育成施策では就
農支援講座の開催や、農業用施設、
機械の導入、法人化の支援など各
種補助事業に取り組みます。

農業者の存続と後継者の育成
質問 就農者の高齢化とともに、
後継者不足により農業の存続が危
ぶまれている。存続の見通しと後
継者の育成施策を伺う。

戦後の日本、農業は大きく変わ
った。増産の時代から農業離れ、
農地荒廃の時代となった。生命を
維持する食糧生産の立場の農業の
重要性から、渋川市の明日の農業
への課題について伺う。



星野 安久

渋川市の明日の農業への課題



増え続ける荒廃農地対策を

よる復元など解消に努めています。
手続を取らない賃借は273haあ
り農業委員会が指導に当たります。
中小商店存続の支援を
質問 近くに全く商店がなくなっ
た地域がある。生活に支障をきた
しているが商店存続の支援策は。

商工観光部長 市では、商店の営
業を続けていただくため、店舗改
装費の一部を補助するなど支援を
行っています。また、高齢化によ
り郊外に買物に出かけることが困
難な市民への対応は、交通施策や
福祉施策等全庁的に取り組めます。

中で真剣に考えていきます。

市長 現在、地域包括ケアシステ
ムの構築に向け取り組んでいます
が、既に、地域助け合い活動も始
まっています。高齢者の外出につ
いては、小野上地域でボランティア
アが送迎する仕組みが動き出して
いるほか、社会福祉協議会では「あ
いのり」を運用しています。高齢
者だけでなく子どもたちも一緒に
なった居場所をつくり、そこを中
心にして受診や買物などができる
ような交通手段の確保について、
地域包括ケアシステムを構築する

**いつでも病院や買い物へ行ける移
動支援策を**
質問 玄関から、病院や店舗へ行
ける取り組みを。社会福祉協議会
の「あいのり」をベースに、医療
機関の隣に受診者の待合スペース
を。運営は地域ボランティアに委
託し、居場所づくりを。夜は中・
高校生の勉強部屋に。複合施設と
して地域コミュニティの拠点とも
なる。移動料金は、年金生活者に
は1回1000円程度の料金で。



安力川信之

誰もが活躍できる渋川を



写真提供：渋川市社会福祉協議会

渋川駅東側に市役所を
質問 駅西ブロックを、任意によ
る優良建築物等整備事業として医
療と介護のまちづくりを。駅東ブ
ロックを法定による再開発事業と
して市役所移転を。
市長 まちなか再生のためには、
渋川駅前の活性化が大事なことで
す。市街地再生事業には国の支援
施策があるので、活用の検討を進
めていきます。市街地再生には土
地の利用制限で私権に関わること
から、関係地権者と調整し、合意
して進められれば良いと思います。

一般質問



篠田 徳壽

第2次浜川市総合計画について

子育て環境の充実

質問 全児童を対象とした放課後学級「トワイライトスクール」の研究・検討の考えは。

教育部長 現在実施している放課後子ども教室の充実に向け、開設時間、日数、期間の拡大等について、研究を重ねていきます。

質問 子育て環境の充実に経済的支援は必要だが無料化がすべてではない。一部負担により子育て環境整備限定の事業に充てる考えは。

市長 無償化により保育の質の低下を招くことがあつてはなりません。子育て環境（公園等）の整備・充実に努めたいと考えます。

商工業の振興

質問 地元企業との連携による情報共有と現状の理解および企業のネットワークを活用した企業誘致などの情報収集を提案する考えは。

市長 市内の立地企業が活性化することは重要と考えます。職員、市民や高校生などが市内企業を知る機会を作りたいと考えます。

事業として、どのようなまちづくりを考えているのか。

商工観光部長 イベントの実施や魅力ある店先づくりにより、市民と観光客が回遊できる、一体感のあるまちづくりを考えています。

勤労者対策の充実

質問 「ジョブサポート浜川」を開設しているが、情報発信や相談日の拡充など、支援強化の対応は。

商工観光部長 就業希望者と面談し就職支援を行うもので、より充実を図るため、相談枠や相談日を増やすなど積極的に推進します。



浜川駅前イルミネーションと駅前プラザ



南雲 鋭一

下水道と水道事業

質問 本市では下水道事業等の地方公営企業法適用を平成32年4月と計画している。計画通りか。

下水道事業は全体計画に対する現在の事業計画の割合が79・7%だが、100%となるのは何年後。

水道部長 計画通り進んでいますので、平成32年4月から適用したいと考えています。

下水道事業は、平成40年度までに整備を完了する計画です。

公営企業会計

質問 公営企業会計では料金収入をもつて経営を行う独立採算制を原則としていることから料金見直しが必要のものとなってくる。予想される時期並びに金額は。

また公営企業会計にあわせ現在の会計を一本化するべきと考えるが。

水道部長 下水道使用料金の適正化を図ることは喫緊の課題ではありますが、時期及び金額につきま

しては、慎重に検討していきます。また、公営企業会計にあわせ会計は一本化することで、検討を進めたいと考えています。

水道事業の民営化

質問 国会で改正水道法が議論されているが、本市ではどのように受け止めているか。水道事業は、「市民の命を守る問題」。新市となつて6市町村の事業が統合され、料金も統一、このまま進むべきと考える。市の考えは。

水道部長 改正水道法は、水道事業の広域連携と官民連携が大きな柱です。現在の本市の状況では、官民連携の導入は困難と考えていますが、今後、適切な判断のため研究及び検討を重ねていきます。



着々と進む下水道事業（半田地区）

一般質問

路線バス以外の移動手段も活用しながら、地域の状況に応じた効果

総合政策部長

地区内を循環する

金で運行することができないか。

「就労移行支援」サービスを支給し、障害者の一般就労を支援しています。

保健福祉部長

市では就労を希望

する障害者に対して、訓練や求職活動の支援等を行う「就労移行支援」サービスを支給し、障害者の一般就労を支援しています。

重要な分野と連携できる体制整備が

重要になると考えています。

保健福祉部長

推進本部を設置し

地域共生型地域包括ケアシステムの体制整備を進めており、さまざまな分野と連携できる体制整備が重要になると考えています。



山内 崇仁

福祉サービスの向上について

的な公共交通網を整備していききたいと考えます。

洪川北部地域の活性化について

質問 過去的一般質問で、金井東

裏遺跡等を生かしてほかの道の駅

と独自性を図り、この道の駅が北

部振興や周辺文化情報発信の拠点

となるよう検討したいとの答弁が

あったが検討状況は。

建設部長

川島地区での整備を計

画していましたが適地選定ができ

ていません。金井地区も上信自動

車道との接続延長が長くなるため、

道路整備費用が多額になります。



市内各所に巡回バスを



加藤 幸子

誰もが安心・豊かに暮らせる 洪川市に

質問 美術館は平成32年に群馬銀行との契約期間が終了するが、その後の方針は出されているのか。

教育部長 契約期間満了後も、街

角美術館として引き続き運営でき

るように群馬銀行と協議を続けて

いきます。

質問 緊急通報システムは設置要

綱に基づいて、必要な市民が利用

できるようにすることが大切。

保健福祉部長

対象となる要件を

満たしているかを個々の状況につ

いて精査を行い決定します。

質問 高齢者の足の確保のために、

前橋市同様、1人120枚のタク

シー券の配布を。

総合政策部長

現在行っている実

証調査を踏まえ、事業内容の精査、

検討をしていきたいと考えます。

質問 保育所に途中入所できない

児童が多いが、公立保育所でも0

歳児保育をするべきと思うが。

保健福祉部長

伊香保保育所で現

在実施しています。今後、保育士

配置や専用設備等の整備がほかの

施設で可能か検討します。



市民芸術の拠点である美術館の今後は

一般質問



角田 喜和

安心・安全な市民生活の確保を

国保税の引き下げと高校卒業までの医療費無料化を

質問 国保基金は12億3349万円ある。1割を取り崩せば加入世帯1世帯につき1万円引き下げできる。引き下げの考えは。

市長 現在の国保税は3年間の激変緩和措置をしています。その間にその後の税率について内容を精査し、国保財政の安定した運営とあわせて国保税の軽減ができるか検討していきたいと思えます。

質問 子どもの医療費無料化を高校卒業まで広げる考えは。

市長 子どもの医療費を支援することは大事であると認識していますが、一般財源がかなり厳しい状況にあるので、国の制度等を見極めながら慎重に検討していきます。

質問 金井地内の市道のスラグと汚染土壌の撤去が始まった。撤去理由は。

建設部長 舗装被覆では隣接する敷地との段差が生じるため、スラグを掘削し舗装工事を行います。



汚染土壌の撤去が進む金井の市道

環境基準値を超えた土壌を撤去するのは、飲用浅井戸があり、仮に水質に影響が出た場合に原因が不明確になることを避けるためです。

温泉源は市が持つべき

質問 スカイトルメ洪川とユートピア赤城が民間に譲渡される。ふれあいの家と温泉源は残せないか。

商工観光部長 老朽化による施設改修費や設備更新、大規模改修など多額の費用が見込まれることから、さらなる民間活力による施設活用として民間事業者へ施設と源泉をあわせて譲渡します。



望月 昭治

合併時の公約は果たせたか

質問 合併時の公約に6橋の整備があるが、取り組みの状況と今後の見通しを問う。吾妻川小野上地区橋りよの早期実現の考えは。

総合政策部長 基幹道路に係る3橋は国県に要望しており、市が整備する3橋のうち浅田橋は完成し、2橋は総合的に検討しています。

不足を補う伊香保駐車場整備を

質問 伊香保行政センター跡地利用として不足している駐車場の整備があるが、民地を含めての整備の考えは。

商工観光部長 駐車場不足の解消と、更なる誘客のため、課題を解決し、費用対効果の検証も行いながら駐車場整備を進めます。

国道17号綾戸バイパスの進ちよく

質問 用地確保の進ちよく状況は。棚下地区から本線への接続はどうなっているか。

建設部長 国からは、平成30年3月末、面積ベースで約40%、接続については、県道下久屋洪川線からの取付道路により接続できると聞いています。



行き止まりの道も防災道路に
(解体中の旧行政センター)

土地改良整備後の問題解消を

質問 赤城地区土地改良後、のり面が高く耕作に不便。隣接民地のり面浸食など、問題点解消を。

農政部長 のり面整地については、営農作業の安全性を考慮し、進めていきます。また、浸食箇所についても、早急に対応します。

市役所建設を早急に

質問 合併特例事業債を使つての早期建設の考えは。

市長 合併特例事業債や地域振興基金の活用を視野に入れ、早期の着手に向けて検討していきます。